



杉並区

特殊詐欺根絶へ

29.3.23
杉並区広報課

「安全・安心まちづくりに関する連携協定」を締結

23日、区と区内3警察署は、公益社団法人東京都宅地建物取引業協会杉並区支部および公益社団法人全日本不動産協会東京都本部中野・杉並支部と「安全・安心まちづくりに関する連携協定」を締結しました。この協定は、不審者や不審物件の通報等を通じて情報の共有を図ることで、特殊詐欺や各種犯罪へ対処していくものです。

平成28年の1年間に、都内で発生した振り込め詐欺は、前年に比べ金額こそ減っていますが、件数は1,879件から2,032件と153件増えています。杉並区は、件数・金額とも増加していて、平成28年は、件数で82件、被害金額はなんと3億8千万円以上に上ります。

■特殊詐欺の発生件数と被害金額

| 項目 | 杉並区 | | 東京都 | |
|-------|-----|--------------|--------|----------------|
| | 件数 | 被害額 | 件数 | 被害額 |
| 平成28年 | 82件 | 388,122,200円 | 2,032件 | 5,893,477,657円 |
| 平成27年 | 73件 | 261,077,057円 | 1,879件 | 6,625,200,429円 |

こうした特殊詐欺犯と被害者の最初の接点は、1本の電話です。そして、その1本の電話をきっかけに、息子役や上司役、弁護士役などが次々に登場し、高齢者から大事なお金を騙し取ります。こうした犯罪は、マンションやビルの一室が、その拠点となっているケースがほとんどです。また、このようなグループには電話をかける人間のほかに、受け子・出し子などと呼ばれる現金の受け取り役がいるので、日頃から多くの人間が出入りするなど不自然な状況が生まれるケースもあります。そこで、今回は賃貸マンションや貸し室の仲介や管理を行っている事業者と協力体制を構築し、不審者や不審物件情報の提供を受けることになりました。



23日午後4時30分、杉並区役所では杉並区長や高井戸・荻窪・杉並の3警察署長、東京都宅地建物取引業協会杉並区支部および全日本不動産協会東京都本部中野・杉並支部のそれぞれの支部長が出席し、「安全・安心まちづくりに関する連携協定」を締結しました。締結後、警察署長からは、「振り込め詐欺の集団は、居住用マンションを拠点にし、その拠点を短期間で転々とする傾向にあり、不審者情報の提供を期待したい。」と話しました。

【問い合わせ先】

危機管理室危機管理対策課 03-3312-2111 内線1582